



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月28日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-6438-6860
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	7,661	21.6	1,526	22.9	1,523	22.5	1,013	21.2
2019年12月期第1四半期	6,300	34.7	1,242	50.2	1,242	51.3	836	51.8

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 1,073百万円 (31.0%) 2019年12月期第1四半期 819百万円 (41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	31.39	31.36
2019年12月期第1四半期	25.91	25.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	18,029	11,952	66.3	369.84
2019年12月期	18,011	11,491	63.8	355.60

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 11,946百万円 2019年12月期 11,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	14.00	-	19.00	33.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	16.00	-	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,300	16.1	2,550	7.5	2,550	7.0	1,670	5.1	51.70
通期	30,000	16.8	5,500	10.7	5,500	10.3	3,600	7.6	111.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	34,471,000株	2019年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	2,169,828株	2019年12月期	2,170,779株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	32,300,689株	2019年12月期 1 Q	32,288,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大が日を迫うごとに深刻化し、国内景気を大きく押し下げました。景気回復には新型コロナウイルス収束が必要であるものの、いまなお先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループは、顧客であるコマース事業者のパフォーマンス（流通総額）を最大化するため、効果的なマーケティングソリューションを提供することに注力した結果、連結経営成績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けはじめたものの、期初は既存サービスの立ち上がりが堅調であったため、全体としては、その影響は限定的なものとなりました。加えて、前連結会計年度以降に連結子会社化したダイナテック株式会社及び株式会社B-SLASHの売上高を計上したことにより、7,661,466千円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、前述の子会社経費及び株式取得にかかるのれん償却費を計上したことにより、1,298,211千円（前年同四半期比64.3%増）となりました。

営業利益は、既存サービスが堅調に推移したことにより、1,526,932千円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

経常利益は、営業外費用に投資事業組合運用損9,385千円を計上したこと等により、1,523,061千円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等510,465千円を計上したことにより、1,013,894千円（前年同四半期比21.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① マーケティングソリューション事業

マーケティングソリューション事業は、コマース事業者のECサイトへの「集客」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」です。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2月下旬から、旅行などの一部分野に影響がございましたが、期初は立ち上がりが堅調であったため、全体としては、その影響は限定的なものとなりました。

この結果、セグメント売上高は4,595,401千円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益は826,214千円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

② ECソリューション事業

ECソリューション事業は、コマース事業者のECサイト上での「販売促進」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、ヤフー株式会社が運営するオンラインモールのストア向けCRMツール「STORE's R[∞]（ストアーズ・アールエイト）」及びクリック課金型広告「ストアマッチ」です。

そのほか、前連結会計年度以降、当社が全株式を取得し連結子会社化した次の2社を含みます。

- ・ダイナテック株式会社（宿泊施設向けに情報システムを開発・提供）

2019年12月期第4四半期連結会計期間から、同社の損益及び同社株式取得にかかるのれん償却費を計上しております。

- ・株式会社B-SLASH（コマース事業者向けにEC運営に必要なソリューションを提供）

当第1四半期連結会計期間から、同社の損益及び同社株式取得にかかるのれん償却費を計上しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ヤフー株式会社が運営するオンラインモールのストア向けサービスにおいて、ヤフー株式会社との協業による営業施策に取り組んだことで、ストアのサービス利用が増加しました。

新型コロナウイルス感染拡大による経営成績への影響は、同オンラインモールのストア向けサービスにおいては、ほとんどありませんでした。宿泊施設を顧客とするダイナテック株式会社においては、主に月額課金のビジネスモデルであることから、著しい影響はありませんでした。

この結果、セグメント売上高は3,066,065千円（前年同四半期比72.5%増）、セグメント利益は1,021,351千円（前年同四半期比43.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は18,029,016千円となり、前連結会計年度末と比べて17,443千円増加いたしました。

流動資産は12,850,838千円となり、前連結会計年度末と比べて621,687千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が511,938千円、受取手形及び売掛金が206,619千円減少したことによるものです。

固定資産は5,178,178千円となり、前連結会計年度末と比べて639,131千円増加いたしました。これは、主にソフトウェアが227,563千円、株式会社B-SLASHの全株式を取得し、同社を連結子会社にしたことにより、のれんが364,776千円、それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,076,935千円となり、前連結会計年度末と比べて442,716千円減少いたしました。

流動負債は5,966,194千円となり、前連結会計年度末と比べて471,450千円減少いたしました。これは、主に買掛金が107,258千円、賞与引当金が126,520千円増加したものの、未払金が414,276千円、未払法人税等が510,255千円減少したことによるものです。

固定負債は110,740千円となり、前連結会計年度末と比べて28,733千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は11,952,081千円となり、前連結会計年度末と比べて460,160千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により613,704千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,013,894千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7,350,973千円となり、前連結会計年度末と比べて511,938千円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は803,551千円（前年同四半期は489,110千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,524,359千円であり、プラス要因として、減価償却費が104,905千円、のれん償却額が115,731千円、売上債権の減少額が206,619千円、仕入債務の増加額が107,258千円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が482,138千円、法人税等の支払額が1,005,111千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は707,431千円（前年同四半期は23,944千円の使用）となりました。これは、主に投資事業組合からの分配による収入が92,776千円であったものの、無形固定資産の取得による支出が206,621千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が537,032千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は608,058千円（前年同四半期は570,577千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が607,925千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年1月29日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました2020年12月期の連結業績予想に変更はありません。

第2四半期以降、「アフィリエイト」の旅行・就職など一部分野で減収を見込んでおりますが、通販など需要が増加している分野もあり、各事業における新型コロナウイルスの影響について精査中です。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、直ちに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,862,912	7,350,973
受取手形及び売掛金	4,290,931	4,084,311
未収入金	1,172,858	1,098,715
その他	161,466	334,650
貸倒引当金	△15,642	△17,812
流動資産合計	13,472,525	12,850,838
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	184,923	199,071
工具、器具及び備品(純額)	156,582	142,342
リース資産(純額)	7,731	18,131
有形固定資産合計	349,237	359,545
無形固定資産		
ソフトウェア	847,031	1,074,594
ソフトウェア仮勘定	1,010,539	1,035,863
のれん	1,321,103	1,685,880
その他	11,010	11,032
無形固定資産合計	3,189,685	3,807,371
投資その他の資産		
投資有価証券	544,822	551,962
差入保証金	311,369	311,502
繰延税金資産	119,299	126,183
その他	25,626	22,603
貸倒引当金	△993	△989
投資その他の資産合計	1,000,124	1,011,261
固定資産合計	4,539,047	5,178,178
資産合計	18,011,572	18,029,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,622,733	2,729,991
未払金	2,278,599	1,864,322
未払法人税等	1,063,905	553,649
賞与引当金	19,075	145,596
その他	453,330	672,633
流動負債合計	6,437,645	5,966,194
固定負債		
その他	82,006	110,740
固定負債合計	82,006	110,740
負債合計	6,519,652	6,076,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,162,922	1,163,298
利益剰余金	8,976,301	9,376,491
自己株式	△530,161	△530,022
株主資本合計	11,337,329	11,738,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,497	208,110
その他の包括利益累計額合計	148,497	208,110
新株予約権	6,093	5,936
純資産合計	11,491,920	11,952,081
負債純資産合計	18,011,572	18,029,016

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,300,301	7,661,466
売上原価	4,267,203	4,836,322
売上総利益	2,033,097	2,825,143
販売費及び一般管理費	790,310	1,298,211
営業利益	1,242,787	1,526,932
営業外収益		
アフィリエイト報酬精算益	6	4,162
貸倒引当金戻入額	647	75
その他	1,636	1,594
営業外収益合計	2,290	5,833
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,531	9,385
為替差損	654	174
その他	31	144
営業外費用合計	2,216	9,704
経常利益	1,242,860	1,523,061
特別利益		
子会社清算益	—	4,767
特別利益合計	—	4,767
特別損失		
減損損失	7,890	—
システム障害対応費用	—	3,470
特別損失合計	7,890	3,470
税金等調整前四半期純利益	1,234,970	1,524,359
法人税、住民税及び事業税	370,718	543,658
法人税等調整額	27,698	△33,193
法人税等合計	398,416	510,465
四半期純利益	836,554	1,013,894
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	836,554	1,013,894
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,901	59,612
その他の包括利益合計	△16,901	59,612
四半期包括利益	819,652	1,073,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819,652	1,073,506
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,234,970	1,524,359
減価償却費	60,713	104,905
のれん償却額	28,086	115,731
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,569	2,166
子会社清算損益(△は益)	—	△4,767
受取利息	△42	△47
支払利息	—	103
為替差損益(△は益)	178	—
投資事業組合運用損益(△は益)	1,531	9,385
減損損失	7,890	—
システム障害対応費用	—	3,470
売上債権の増減額(△は増加)	34,008	206,619
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,781	107,258
未収入金の増減額(△は増加)	△66,488	52,931
未払金の増減額(△は減少)	△108,533	△482,138
その他	122,760	168,742
小計	1,256,726	1,808,718
利息の受取額	42	47
利息の支払額	—	△103
法人税等の支払額	△767,658	△1,005,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	489,110	803,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,716	△37,909
無形固定資産の取得による支出	△48,109	△206,621
投資有価証券の取得による支出	—	△33,381
子会社の清算による収入	—	14,767
投資事業組合からの分配による収入	25,881	92,776
差入保証金の差入による支出	—	△32
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△537,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,944	△707,431
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	3,889	463
自己株式の取得による支出	△89	△104
配当金の支払額	△574,377	△607,925
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△491
財務活動によるキャッシュ・フロー	△570,577	△608,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	△178	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△105,590	△511,938
現金及び現金同等物の期首残高	7,978,055	7,862,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,872,464	7,350,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション事業	ECソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,522,694	1,777,606	6,300,301	—	6,300,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,522,694	1,777,606	6,300,301	—	6,300,301
セグメント利益	795,584	714,434	1,510,019	△267,232	1,242,787

(注) 1. セグメント利益の調整額△267,232千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション事業	ECソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,595,401	3,066,065	7,661,466	—	7,661,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,595,401	3,066,065	7,661,466	—	7,661,466
セグメント利益	826,214	1,021,351	1,847,566	△320,633	1,526,932

(注) 1. セグメント利益の調整額△320,633千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B-SLASHを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ECソリューション事業」において、1,106,742千円増加しております。

なお、当該セグメント資産の金額は、取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算出された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B-SLASHを連結の範囲に含めたことにより、「ECソリューション事業」におけるのれんが480,507千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算出された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。